

## 子ども・若者と対話していますか？ 大人同士の対話していますか？

現在の地域社会において、大人たちは、子どもや若者とどれほど関わりをもっているでしょう。

情報化が進み、人と関わらなくてもある程度生活していくことができる社会です。

しかし、それでよいのか考えてみる必要があるのではないのでしょうか？

人は、人との関わりの中で悩みや苦しみを持つこともあるけれど、希望や喜びを得ることもできます。地域社会の慣習や生活文化を自分の暮らしに取り入れるようになります。関わりの積み重ねの中で協働することの面白さを知り、トラブルやリスクを解決・処理する術も学びます。

地域社会は多種多様な人が存在する場であり、想像の範囲を超えた経験や関係性が生まれる可能性に溢れています。

居場所は、それらの必然を捉えながら、可能性を追求する場でありたいものです。子ども・若者ばかりではありません。大人同士の関係も重要です。

今回のガイドのテーマは、対話＝コミュニケーション。会釈をする関係→声を掛け合う関係→ちょっとした世間話をする会話の関係→対話ができる関係。

わたしたち大人と子ども・若者がお互いの固有性を認めつつ、互いに関心を持ち合う関係に、時に共感を持つ関係に、そして未来への希望を共に持つ関係に…

対話する勇気をもって、耳を傾けましょう。想いを伝えましょう。

すぐ前の  
先頭座席に  
座った子どもが  
泣いていた。  
3年生くらいかと思った。

